

※ 園長のひとりごと

この何年間の8月のおたよりを読み返してみますと、「7月初旬の猛暑」とか「長雨の影響で」と暑かったり寒かったりの話題が多く、決まって最後には「この異常気象」と締めくくっている事が特徴的でしたが次第にその振れ幅が大きくなり、7月24日の全国ニュースでは北海道帯広市が気温40度に達するのではないかとの報道されておりました。幸い当日は38.8℃と40℃までは上昇しませんでした、九州から北海道の何処も同じような気温となってしまうましたが、一番南の沖縄が一番過ごしやすかったとか・・・今年2月、帯広では一晩の降雪量120センチを記録したばかりで、今後帯広では雪対策と暑さ対策の両方講じなければならない状況かもしれませんね。

ただ、「異常気象」もここまで繰り返されてきますと、既にこの事が「新しい正常な気象」への移行期に入っていることを示しているのかもしれませんが、次第に気候帯が熱帯に寄って行っているのかも知れませんが、今年はお米沢山取れることを祈りたいです。

間もなくこども園での1年の3分1を経過することになるのですが、次第に子ども達の保育時間が長くなる傾向にある事を懸念しております。勿論、全てのお子さんの保育時間が長くなっている訳ではありませんが、2・3号利用(保育利用)のお子さん場合は、保育時間は原則1日8時間となっており、保護者の就労時間+通勤時間が目安となっております。多くの事業所では、週当たりの労働時間は40時間となっている筈ですし、働き方改革により年次有給休暇や子の看護等休暇等取得しやすくなって来ています。しかし、保護者のお仕事がお休みの時にも登園されるお子さんが少なからずいらっしゃいます。保護者がお休みの時には、登園しないで下さいとまでは言いませんが、普段からお仕事がお忙しいのであれば、せめて仕事のお休みの時はお子さんと一緒に過ごして頂き、今しかない子ども達との楽しい時間を共有され、お子さんの日々の成長を感じて取って頂きたいと思います。

これから、夏のご旅行やお墓参りなどに出かけられる方もいらっしゃるかと思います、この時期子どもたちの生活リズムが乱れやすい時期でもあります。特に夜更かしの影響は翌日以降様々な面で出てきますので、くれぐれもお気を付け下さい。

北海道の短い夏です。急な豪雨と「神出鬼没の熊」「道路に飛び出す鹿」に気を付けながら、ご家族の楽しい思い出を沢山作ってくださいね。

